



那覇市福祉のまちづくり条例

私たちは、すべての市民が住みなれた地域ですこやかに安心して暮らせる社会の実現を目指している。それは、高齢者、障がい者等を含むすべての人が個人として尊重され、個性と可能性に応じたあらゆる分野の活動に等しく参加できることが基本である。

そのためには、まちづくりのあらゆる場面において、市、市民及び事業者が協働して、自由な行動を阻んでいる様々な障壁を物心両面にわたって一つ一つ取り除いていくことが重要である。

ここに、市民の総意の下、すべての市民が生きがいをもって共に生きる福祉のまちづくりに取り組むことを決意し、この条例を制定する。

～～～条例前文より～～～

条例に込められた思い・・・

32万人を超える市民が生活している那覇市。

小さな子どもからお年寄りそして、障がい者（児）や外国籍の方など環境もさまざまです。すべての市民が、住み慣れた地域で安心して過ごせるには・・・。

イメージしてみてください。病気やけがで一時的に車イスのお世話になったら、不便なことは何だろう。若い人も年を取ります。目の前にいるお年寄りを見て『未来の自分』として感じる事ができるでしょうか。いつか自分がその立場になった時、笑顔でいられるように。そう思えば、愛情と思いやりを持って考えていただけるのではないのでしょうか。『自分の住んでいる地域を笑顔あふれるまちへ』身近なところに目を向けて、出来る事から取り組んでみませんか。

h26年 福まちの予定

福祉教育 こどもセミナー（6校）

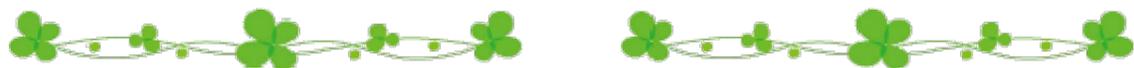
福祉教育 障がい当事者講話（2校予定）

サービス介助セミナー（市民・企業向け）

福まちだよりの発行

福祉のまちづくり推進員会議

福まちのパネル展（2月）



発行元 那覇市福祉政策課 862-9002 fax862-0383

福祉のまちづくり情報

2014 第8号

「福まちだより」

バリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり

那覇市ではすべての市民が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう「福祉のまちづくり条例」のもと、『心のバリアフリー』を推進する取り組みを行っております。



今号の紙面
福祉のまちづくり推進員と提案事項
那覇市福祉のまちづくり条例について



平成26年度福祉のまちづくり推進員について

福祉のまちづくり推進員のご紹介

平成21年から市民や事業者と一緒に考えて取り組もう！と始まった“福祉のまちづくり推進員”の委嘱。6年目を迎え、今年も11名の方にご協力いただけることになり、5月21日に委嘱状の交付を行いました。
推進員のみなさんの協力をいただきながら、『一歩前へ』すすめていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委嘱状交付式



福祉のまちづくり推進員会議の様子



☆
ゆ
た
し
く
う
に
げ
ー
さ
び
ら
☆

推進員のからの提案！

提案1

“いざ”という時にそなえて・・・福祉事業所の協力を！
緊急災害時に備えて、市内の福祉関連の事業所さんへ『協力できる事はありますか？』とアンケートをとってみては。
例えば、人・物・場所 に分けて人の派遣ができるとか、場所の提供ができる など事業所の強みを生かした協力を引き出して協力を依頼。
さらに登録シールを配布して市民から見える化することで、地域に安心感をあたえる効果も期待できます！

提案3

今、自閉症当事者の書いた本が世界的ベストセラーになっています。発達障がいなどの理解につながりますので、本の紹介などをしてみては

提案2

市内小中学校における特別支援学級在籍児童生徒の保護者・担任の先生に対するアンケート調査を！
(進学・就労などの支援について)

特別支援学級のお子さんはクラスの人数も少なく、当事者同士の関わりも特別支援学校に比べて少ないので、何かと不安な事が多いようです。そこで学校での支援制度や福祉の支援などのアンケートをとって、現状確認を行いたい。担任の先生方へも同様にご意見を伺ってはどうですか。

提案4 市内 公園の活用・活性化

せっかく設置された地域の公園・・・ひとけ 人気のない公園はさびしいですね。しかし最近“大石公園”のにぎやかな活動が話題になっています。ヤギを飼っていたり、ゆり祭りを実施したり。そこで、大石公園を参考にみんなで協力して、『公園を中心に地域を盛り上げよう！』ということで...小祿地区にある『金城公園』に注目！水辺近隣公園として作られていますが、実にもったいない。地域住民・事業所・企業さんへの力で『ホテルをとばそう！』なんてことできたら面白い！

大学生の

提案5

沖縄の伝統食文化継承とコミュニティづくり 『マチグァー重箱作りプロジェクト』
沖縄文化の象徴 今や大注目のうちなー料理！大学生の食生活の改善及び、勉強を兼ねて公設市場界隈で重箱づくりを行っています。食材を一つ一つ詰める作業ですが、意外な効果もありますよ。
1.若者へ文化の継承
2.那覇のマチグァーと若者を結び、顧客化へ
3.店主たちの張り切り...マチグァーで働く『ねえさん』とも重箱づくりを通して、コミュニケーション！
などなど・・・効果抜群の事業なので、温かい支援をお願いします m(_)_m

提案6

“ノルディックウォーキング”で健康づくり
2本のポールで歩くノルディックは、子どもからお年寄りまでみんなが参加できるスポーツ。健康づくりでイベントを！

提案7 ユニバーサルデザイン公園の整備

公園は、自然災害が起こった時避難場所にもなります。健康者・高齢者・障がい者を含む『すべての人が利用し、避難できる防災機能を持つ公園づくり』としてマニュアルを作成しました。

様々な教訓を生かして、是非出来るところから取り入れてほしい。まずは基本設計時に実施するワークショップに高齢者や障がい者子どもを持つ親を参加させる配慮を！

提案8

地域防災の担い手“民生委員”の負担軽減を！
定員割れがあり、一人が担当する要援護者も多くいざという時機能しない可能性が高い。実践的なものに変えるため新しいコミュニティ作りをしたい

提案9 “地域利便施設”の整備

市営住宅の建て替えなどで『地域利便施設』の設置を計画されているが、福祉のまちづくりの観点から既存の団地集会所などの改修についてもユニバーサルデザインの導入し設計することが大事。地域の人達が自由に利用しやすい施設整備を！